

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2004年 9月17日

出 願 番 号
Application Number: 特願2004-272489

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号

J P 2004-272489

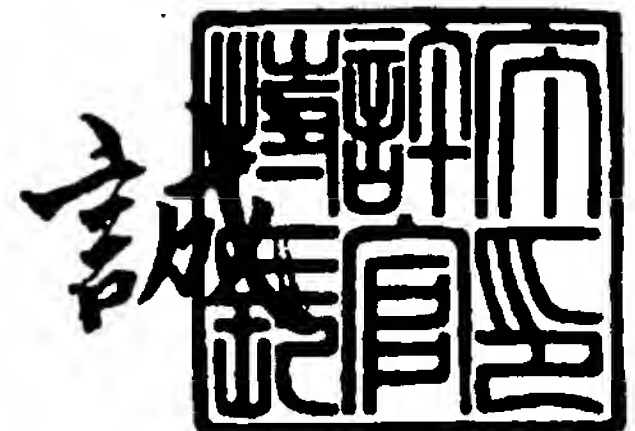
The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

出 願 人 松下電器産業株式会社
Applicant(s):

2005年10月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

中 嶋



【書類名】 特許願
【整理番号】 2047960172
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04L 13/00
H04L 12/56
H04B 7/06

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 中原 秀樹

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 ▲たか▼井 均

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 山▲さき▼ 秀聡

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 宮長 健二

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 田中 宏一郎

【特許出願人】
【識別番号】 000005821
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】
【識別番号】 100098291
【弁理士】
【氏名又は名称】 小笠原 史朗

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 035367
【納付金額】 16,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9405386

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

複数の無線局が信号を受信局へ送信する無線伝送システムであって、

前記信号を送信する基準となる基準タイミングから、所定の遅延量だけ遅延させたタイミングを、前記信号の送信を開始する送信開始タイミングとする送信タイミング制御手段と、

前記送信タイミング制御手段によって決定された前記送信開始タイミングに、受信側において復調されることによって耐マルチパス性を発揮する変調方式で変調された信号を送信する送信手段と、

前記受信局に設けられ、送信されてきた信号を受信する受信手段とを備え、

前記所定の遅延量は、前記受信手段によって信号が受信される受信タイミングの数が複数となり、かつ当該受信タイミングの数がパスダイバーシチによる効果に寄与する最大有効ブランチ数以下となる大きさであり、

前記所定の遅延量は、各前記受信タイミングの差が、パスダイバーシチによる効果が得られる遅延分解能以上となり、かつ前記受信タイミングの最大値および最小値の差が、パスダイバーシチによる効果が得られる遅延上限以下となる大きさであることを特徴とする、無線伝送システム。

【請求項 2】

前記送信タイミング制御手段および前記送信手段は前記無線局に設けられ、

各前記無線局が持ち合わせる前記基準タイミングは予め定められており、各前記無線局が持ち合わせる前記基準タイミングは同一のタイミングであることを特徴とする、請求項 1 に記載の無線伝送システム。

【請求項 3】

さらに、前記受信局へ送信すべき信号を前記無線局に送信する送信局を備え、

前記送信局は、

前記受信局へ送信すべき信号を前記無線局に送信する送信元信号送信手段を含み、

前記送信タイミング制御手段および前記送信手段は前記無線局に設けられ、

前記無線局は、

前記送信元信号送信手段によって送信された信号を受信する中継受信手段と、

前記中継受信手段によって前記信号が受信されたタイミングを検出するタイミング検出手段とを含み、

前記送信タイミング制御手段は、前記タイミング検出手段によって検出されたタイミングを前記基準タイミングとし、

前記送信手段は、前記中継受信手段によって受信された信号を前記受信局へ送信することを特徴とする、請求項 1 に記載の無線伝送システム。

【請求項 4】

前記タイミング検出手段は、前記信号に含まれるユニークワードを検出することを特徴とする、請求項 3 に記載の無線伝送システム。

【請求項 5】

さらに、前記受信局へ送信すべき信号を前記無線局に送信する送信局を備え、

前記送信局は、

前記受信局へ送信すべき信号を前記無線局に送信する送信元信号送信手段と、

前記所定の遅延量を、複数の候補値から選択する遅延量選択手段と、

前記基準タイミングから、前記遅延量選択手段によって選択された遅延量だけ遅延させたタイミングを、前記信号を前記受信局へ送信する再送信開始タイミングとする再送信開始タイミング決定手段と、

前記再送信開始タイミング決定手段によって決定された前記再送信開始タイミングに、前記信号を前記受信局へ送信する再送信信号送信手段とを含み、

前記前記送信タイミング制御手段および前記送信手段は、前記無線局に設けられており

PCL XL error

Subsystem: USERSTREAM

Error: MissingData

Operator: EndImage

Position: 2995